

《 早慶レガッタ観戦記 》

広報委員

春のうららの隅田川で、4月13日(日)に、恒例の早慶戦が開催されました。

早大理工漕艇部と慶応医学部の舵付きフォア1000mは、12時10分にスタートしました。私は、スタート地点で観戦しましたが、スタートから飛び出した理工クルーは、吾妻橋では1艇身以上水を開けて、快調な戦況。私もカメラを片手に、安心してクルーの後を追いかけてきました。(写真下:スタート)



ゴール地点まで戻り、船台の所で、警備員をしている小泉さん(S52卒)と高橋さん(S52卒)に結果を確認すると、何とか逃げ切ったとの事でした。学部対抗は、これで早大33勝、慶応6勝となりました。

表彰を終えて戻る理工クルーと記念写真に収まりました。



レースも順調に進み、第2エイトの時、事件が起きました。消防庁のレスキュー艇がスタート地点に急行していく。何かと見てみると、慶応クルーが単独で漕いでいきます。その後から早稲田の船は、無人でレスキューの水上バイクに引かれて戻ってきます。

後から聞いた水上警備を行っていた土屋さん(S56卒)の話ですが、『私達は蔵前橋付近で

警備をしていました。屋形船、観光船が多数航行、護岸はコンクリートのため、できた波は消えない。

「少し波が大きいのか?」とモーターの船長に聞くと「この辺は波が消えにくいんだよね」との事、セカンドクルーがスタート地点に向かう。慶応はエンバの艇順調に私達のモーターの前を通りすぎる。早稲田はベスポリの艇、なかなか来ず、200m程度漕ぐと水を汲み出す作業ベスポリの艇は短いのか?波に翻弄され、ピッチングが大きい。「これは、沈没するかも」と思った。10分後沈没、両国橋付近、本部の指示により、私達モーターは沈没地点に急行した。既に、ウオーターリスクマネジメントが救助開始、私達は、状況を逐次、水警本部に報告する。コックスから順に救助、5分程度で全員救出し、ひとまず安心、救助されたクルー人数を確認する、無線飛び交う、水路担当の、モーターに7人載っている。船台に2人もどっている。「全員確認できた良かった」

クルーの乗ったモーターに近づくと、皆うなだれている。かける言葉は無い。こちらはとしても、帽子を振るのが精一杯、クルーは顔をあげ、小さく頭を下げる。心中を察する事はできない。』

この話については、後日談が、柳内さん(S39卒)から寄せられた。

『台船整理と水上警備お疲れ様でした。お二人の報告とも臨場感あふれる内容で興味深く読ませていただきました。それにしても、昨日の第二エイト沈没によるレース中止、OBレース中止、早稲田対抗エイト(予想外の)敗北といった一連の出来事が一つの事件に因していると思えてなりません。』

その事件は、先週水曜(9日)午後、戸田で行われた早慶両クルーの観漕会で起こりました。

この日はWKマスターズ(早慶両校ボート部OBのボート倶楽部で毎週水(11:00~戸田)、土(13:00~鶴見川)に乗艇練習し各種レースに参加しています。理工OBも歓迎されますので、定例練習日の乗艇練習を終え14:00(13:30だったか?)から行われた観漕レースの場になりました。

観漕会は戸田コース1000m-2000mの区間で最初、早稲田第二vs.慶応対抗、ついで早稲田対抗vs.慶応第二の間で行われました。問題は最初のレースで早稲田第二が慶応対抗を破った直後に起こりました。早稲田第二はチャレンジャーとして明らかに慶応を上回るrateで漕

ぎ、半艇身差で慶応対抗を振り切って 2000m のランドマークを通過しました。前半の慶応は本番でのレースを想定した rate で漕いでいたかもしれませんが、最後は早稲田並みの rate に上げて激しく競り合っただけのゴールでした。半艇身差で 2000m ランドマークを過ぎてイージーオールがかかると早稲田艇からはガッツポーズと歓声が上がリ、そのハシャギぶりは普通のボートレースでも余り見られぬ光景でした。慶応艇として最後は全力を尽くしていましたがイージーオール後は全員前かがみになっています。ポンドの埼玉側には両校 OB が多数観戦していましたが、一橋側には両校関係者以外の人だまりも出ていました。この中で並べずから慶応対抗の姿は敗戦に打ちひしがれ、うなだれているようで気の毒にすら見えました。台船の手前で見ていた私も何となく気まずい思いを抱きました。「慶応はショックだろうな。早稲田は荒っぽい漕ぎながら勢いは明らかに慶応に勝っていたな。」などと思いながら何か見たいものを見てしまったような感じを抱きました。此の感情は私ばかりでなかったように思います。兩岸の人々の間の雰囲気は今終わったばかりの両艇の競り合いの思いもせぬ結果に戸惑いを見せているようでした。その中で、喜びに弾けかえっている早稲田第二エイトと心なしかうつむき加減の慶応対抗が艇を浮かべていたのです。

やがて、艇を返してスタート方向に戻る早稲田第二エイトは艇庫前で艇を止め、全員得意そうに早稲田艇庫の方向に顔を向けました。中には手を振る漕手もいました。岸からは健闘を讃える声も飛びました。その時、稲門艇友会の谷古会長が台船に飛び出し、「バカヤロウ！。お前たちの今の振る舞いは何だ。相手に失礼と思わないのか。相手の気持ちになって考えられないのか。」と対岸にも届く声で怒鳴りました。この叱責に第二エイトの選手たちも初めは良く理解できぬようでしたが、やがて笑いを消してスタート方向に立ち去りました。

谷古会長の叱責は埼玉側の早慶両艇庫にいた関係者だけでなく、対岸の他校関係者の耳に入ったはずですが、慶応対抗クルーの耳にも入っているはずですが、予想外の結果に気まずさを感じていた以上に、早稲田第二エイトのハシャギぶりに、あたかも自分の子供の不行跡に親として感じるような恥ずかしさを感じていた時だけにホッとするものを感じました。その場にいた早稲田関係者のすべてが同様の思いをしたものだと思います。恐らく慶応関係者もこの言葉に「早稲田に対する怒り」を抱かなくてよくな

ったことにホッとしたことと思います。

第 2 レースの早稲田対抗 vs 慶応第二は早稲田が水を明けての圧勝でした。Rate も慶応より高く力でねじ伏せるといった漕ぎでした。

30 分後には早慶両校 OB は何時もの定期練習後同様に国谷で杯を傾け和やかに歓談しました。谷古会長も少し遅れて合流しました。学生に対する特段の指導は恐らく監督・コーチから行われたものと思います。またそうあるべき振る舞いでした。

高橋さん、土屋さんレポートで早稲田第二エイトの台船けり前の混乱、回漕時の危機回避能力の欠如などを聞くにつけ、観漕会での振る舞いとそれに対する自責の念が彼らの平常心を大きく狂わせていたものと思われまふ。同時に対抗クルーも同様の心理状況に有ったと思われまふ。観漕会では毅然と慶応第二を叩きのめす気迫が本番では全く見られませんでした。

早稲田第二エイトの不始末は慶応第二エイトの 4 年生から隅田川で早慶戦を漕いだという思い出を奪ってしまいました。慶応第二クルー 4 年生の心中は如何ばかりかと思われまふ。26 日に戸田でレースを行うとのことですが、戸田では早稲田が勝つと思われまふ。ただし早稲田クルーが精神的に立ち直った場合にはどの前提です。早稲田第二が自分たちの心無い振る舞いが諸々の事象の素を成したということ

を真摯に理解し反省の上で、自責を乗り越えて成長することを期待しましょう。』

なお、OB エイトには理工 OB の熊谷さん (S52 卒) が乗る予定でしたが、この出来ごとのために、レース中止となりました。

写真：準備中の熊谷さんと「私設応援団？」

なお、この大会へは、早大理工 OB から、下記の支援を行いました。

①早慶レガッタ支援部会：栗原さん (S59 卒)

②広告の掲載支援：小寺さん (S60 卒)

多くの理工 OB から、支援戴きました。

②当日の大会運営支援

野村さん (H3 卒)、中平さん (S57 卒)、芦澤さん (H2 卒)、高島さん (S56 卒)、高橋さん (S52 卒)、小泉さん (S52 卒)、

また、多くの OB が観戦、応援に来られました。



《横浜市民レガッタに碧水会大挙参戦》

4 月 26 日(日) に横浜市民レガッタが開催されましたが、理工漕艇部 OB 碧水会は延 23 人が大挙して参戦しました。途中から雷の伴う大雨になりましたが、ナックルは S50 の優勝もあり、楽しい一時でした。

☆メンバー エイト：回天Ⅱ

C 吉田, S 野村, 7 小林, 6 土屋, 5 芦澤, 4 高橋, 3 高島, 2 中平, B 林



☆クオード：暁

C 吉田, S 荒川, 3 林, 2 高島, B 中平



☆ナックル S52

C 中平, S 荒川, 3 小林, 2 土屋, B 野村



☆ナックル S50

C 吉田, S 鳥羽, 3 高荷, 2 池田, B 井窪



種目	チーム名	1 回目	2 回目	合計	順位
男子 KF (50~59)	RCF フェニックス	01:26.4	01:22.6	02:48.9	4
男子 KF (50~59)	早大理工碧水会 S52	01:15.8	01:22.8	02:38.6	2
男子 KF (50~59)	パワーズ A	01:10.1	01:19.3	02:29.4	1
男子 KF (50~59)	ショートレンジ	(棄権)	(棄権)	棄権	棄権
男子 KF (50~59)	東芝京浜 5 O	01:18.0	01:27.0	02:45.0	3
男子 KF (50~59)	中大杉並艇友会 B	01:24.2	01:35.5	02:59.6	5
男子 KF (60~69)	早大理工碧水会 S50	01:17.3	雷：中止	01:17.3	1
男子 KF (60~69)	アメンボウ☆うらぬす	02:02.9	雷：中止	02:02.9	3
男子 KF (60~69)	鶴見川 MRC-H	01:28.1	雷：中止	01:28.1	2
男子クオド (50~59)	佐鳴漕友会 (静岡大学 B)	01:07.9	01:07.5	02:15.3	1
男子クオド (50~59)	桜艇会 (オウテイカイ)	01:06.5	01:10.7	02:17.3	2
男子クオド (50~59)	早大理工碧水会暁	01:11.4	01:20.8	02:32.2	4
男子クオド (50~59)	団塊号ミドル	01:17.8	01:15.1	02:33.0	5
男子クオド (50~59)	五大学クオド	01:09.2	01:19.7	02:28.9	3
男子エイト (50~59)	金沢大学医王会エイト	00:59.0	01:02.8	02:01.9	2
男子エイト (50~59)	木月艇友会パーミリオン	01:01.9	01:08.6	02:10.4	9
男子エイト (50~59)	3MRCJA 紅 2 点	01:03.3	01:06.6	02:09.9	7
男子エイト (50~59)	早大理工碧水会回天Ⅱ	01:04.3	01:05.9	02:10.2	8
男子エイト (50~59)	五大学ミドル	01:01.4	01:02.9	02:04.2	5
男子エイト (50~59)	矢切ローイングクラブ	00:59.7	01:01.1	02:00.9	1
男子エイト (50~59)	日立インスパイア A	01:02.8	01:06.2	02:09.1	6
男子エイト (50~59)	立教関学連合	01:00.6	01:02.1	02:02.7	4
男子エイト (50~59)	佐鳴漕友会 (静岡大学 A)	00:59.6	01:02.3	02:01.9	3

「2013 年 OB 会活動を振り返って」

－現役支援と OB の為の OB 会－

OB 会長 鳥羽博司 (S50 年卒)

昨年の総会に引き続き 2013 年の OB 総会を、理工学部 56 号館 B1 生協カフェテリア (学生食堂) にて開催いたしました。昨年同様に、60 名を超える方々にご出席いただき、盛況のうちに執り行うことが出来ました。まずは、この紙面をお借りし、御礼を申し上げます。

さて、2013 年の OB 会活動ですが、一昨年の総会にて高見前会長より OB 会組織及び役員・各種委員会委員を、殆ど居抜きのまま引き継ぎ、「**現役支援と OB の為の OB 会**」を活動のモットーとして、この 1 年間活動を行って参りました。

先ず、現役支援活動については、佐藤副会長兼委員長 (S-42 卒) を筆頭とする現役支援委員会の精力的かつ継続的な支援活動の効果として、昨年の新入部員数が 11 名と、最近では珍しく 2 桁の入部があり、その新入部員が小艇にて試合に出るなど、活発な部活動を行っています。

林監督 (S-45) ・熊谷助監督 (S-52) ・武田助監督 (S-55) の 3 名は、2012 年 11 月 3 日の総会で、これまでの指導体制を刷新し新たに誕生した新指導体制ですが、この 1 年、彼らの骨身を惜しまぬ情熱的な指導スタイルが現役学生に浸透しはじめ、理工ボートの雰囲気明るく、快活な状況に変わりつつあり、徐々にではありますが、良い結果もできるようになってきています。

最近何よりも嬉しかったことは、戸田において他大学 OB より「最近の理工ボートは活気があるね」とのお言葉を頂けたことです。

ただし、現役部員数にしても、理工ボート部クルーの実力にしても、この 10 年あまりの間に大きく落ち込み、現状はボトムの状態にあると言わざるを得ず、理工ボートの復活に向けた 2014 年の OB 会活動の第一の目標は、春の新人勧誘を皮切りに、先ずは部員数増大を目指した現役への支援活動です。

一方、OB の為の OB 会活動では、土屋委員長 (S-56) を筆頭とする催事委員会及び同委員会の下部組織である碧水会ローイング・クラブ (高橋主将、S-52) の活発な活動が中心ですが、OB が常時漕げる環境作りから始め (週末を基本に、乗艇練習のホームグラウンドを相模湖とし、戸田、鶴見川等でも行っています)、徐々にその枠を広げつつあります。こ

の 1 年においても、理工系レガッタ、お台場レガッタ、全日本マスターズ (愛知)、山笠レガッタ (北九州)、横浜市民レガッタ、相模湖夏合宿、相模湖翠水レガッタ、宮ヶ瀬紅葉レガッタ+BQ パーティー、鶴見川ボートマラソン等遠征を含めた幾多のレースに参加しています。

創部 53 年目を迎えた理工ボート部も、第 2 の人生を歩みはじめた OB 会員が増え、運動不足解消や健康増進を目的に、これら OB のオールへの回帰が活発化しています。また、理工ボート部 OB に限らず、高校・大学を含めた他校 OB・OG による各種シニア大会への参加者数の多さには驚かされる昨今です。

然しながら、700 名を超える OB・OG を抱える理工ボート部において、徐々に増えつつあるとはいえ、碧水会 RC メンバーとして常時練習やシニア大会に参加している OB の数は、せいぜい 15 名程度であり、決して多くはなく、現役部員数の増大支援と合わせて、OB 会イベントに参加してもらえる OB 数を増やすことが喫緊の課題です。

2014 年の OB の為の OB 会活動は、ボートレースに限らず、OB/OG に、その家族を含めてこぞって参加して頂けるようなイベント企画の立案・実施が目標です。

ここ何年も途絶えておりました早慶レガッタへの支援活動は、稲門艇友会からの正式な要請を受け、レガッタ・プログラムへの広告集めとレガッタ当日の用具係や会場警備などの運営支援を、昨年より再開しています。

OB 諸氏の中には、なぜ早慶レガッタへの支援を、特に OB 会費に加えてレガッタ・プログラムの広告代をなぜと？と思われる方も居られることとは存じますが、同じえび茶のオールを漕いだ仲間として、また春の隅田川の風物詩として存続させるために、現 OB 会役員会において支援すべしとの結論に至ったところです。

つきましては、上記事由をご賢察の上、引き続きましてのご支援・ご協力を、お願い申し上げます。

2020 年の東京オリンピック開催に向け、第二のオリンピック選手排出を目指し、また日本マスターズ制覇、世界マスターズでの碧水会 RC クルーの活躍を目標に、新たな半世紀に入った理工ボート部の現役・OB 会活動の更なる活性化を図って参りますので、OB/OG 諸氏におかれましては、今後とも、物心両面からの絶大なるご支援を宜しく申し上げます。以上 (原稿受領 2004 年 3 月)

全日本マスターズへの挑戦その 1

五大学レガッタから全日本マスターズへ

碧水会 RC 野村 祐造 (91 年卒)

初投稿でもあり、冒頭に少し個人的なボートとの再会について書かせていただきます。

私は学生時代は目立った選手でもなく、また就職した会社にもボート部がなかったこともあり、ボートとは縁遠い生活を送っていました。もうあんなにしんどいスポーツには戻らない、大学時代のいい思い出…とっていました。社会人生活では、草野球やソフトボールチームへの所属、ゴルフ等のエンジョイできるスポーツは継続しておりました。

ところが、2011 年 6 月 7 日に受けたメールが転機に。配信された内容は 50 周年記念レガッタ開催案内。「誰かですか??」との同期の問いかけに各自即座に反応し、その二日後には出場メンバーが揃っていました。メールは恐ろしいですね。伝達が早くていいですが、記録として残るので、「やりましよう！」の一言は消えません (笑)

何気なく再開したものの、なまりきったおじさんの体には厳しいスポーツですが、自主練習やびわこ市民レガッタへの遠征、横浜市民レガッタへ出場など、同期と昔を思い出し楽しく過ごすことができました。

その後、私は継続して今に至っており、与えられた環境があり継続できることに感謝しております。まずは外的環境として、①先輩たちが築いた環境があること (ボート各団体に諸先輩方が所属。)、②いつ再開しても暖かいオアーズマンの受け入れがあったこと (各ボート団体の皆さん優しい)、また内的環境として、①子育てが落ち着いたこと (子供と一緒に遊んでくれないとも言います笑)、②奥さんが理解あり (亭主元気で留守がいいと思っています笑)、③土日勤務がほとんどないこと (日頃はちゃんと仕事してます笑) が主な要因です。

ボート競技を再開し、早いもので約 3 年が経過します。今年からは、土屋監督より整調の大役を引き継ぎ練習を開始しております。これまで、4 番もしくは 6 番で B サイドの先輩の背中を見て漕いでいましたが、今は COX 吉田さんを目の前にして、いささか戸惑いつつ、久々の整調を楽しんでいます。

さて、現在の碧水会 RC は、全日本マスターズ (5/24-25 開催) を目標に、OB レースにご招待を受けた 2000m レースの五大学レガッタ (4/29 開催) を課題に、練習の山場に差し掛かっており、第 2・4 日曜日を定期練習日、その他を個別練習日として活動しております。

主な練習場であった戸田漕艇場、鶴見漕艇場は混雑しているため、練習しやすい環境を求め、相模湖漕艇場まで足を延ばしています。相模湖は学生が小艇で練習するのがほとんどで、参加メンバーに応じて借艇する艇の入れ替えが容易で急遽の予約も可能で助かっています。如何せん利用の少ないエイト艇は整備が悪く、高島さんからご指導いただきコツコツと碧水会 RC 仕様にチューンナップしております。

また、土屋監督による基本技術の周知、ビデオ撮影やスピードコーチの活用の他、理工学部のボート部らしい練習方法ができないか検討し始めています。

五大学レガッタの OB 招待レースは、碧水会 RC として初の 2000m レースです。OB にとっては、COX 吉田さんの名言「頑張らない、諦めない」がピッタリと当てはまるレース距離です。土屋監督からは、「レート 30 くらいで漕ぎきりたい! 少しは頑張ってみましょうか!」との号令が出ています。招待いただいているので、かっこ悪い漕ぎはしたくありません。無理しない範囲で頑張りたいと思います。そして、五大学レガッタで納得のいく漕ぎをして、目標の全日本マスターズに臨みたいと思います。皆さまご声援の程よろしくお願い致します。



<写真 デミタス>

練習に付きものの反省会会場。気立てのいい店員がいる「いかりやデミタス」を新規開拓し、相模湖は第 3 の練習場として整っています。

(原稿受領 : 3 月 25 日)

五大学レガッタ結果報告

兎に角 2000m 漕ぎ通しました

前報の通り、4月29日の緑の日、戸田漕艇場において、5大学対抗レガッタのOB招待レースに、我が早大理工壁水会が招待されました。5大学とは、外語大、筑波大、海洋大、防衛大、東工大の5つの大学ですが、ここで、OB招待レース:ミドルエイト2000mに、佐鳴漕友会、金沢医王会、碧水会、五大学ミドル、団塊号の5クルーが招待されました。レースは最初に飛び出したのが佐鳴漕友会と医王会、

我が碧水会は、出遅れはしたが、1レーンと2レーンには僅かに先行し、1000mまでは3位をキープした。しかし、ここで艇速が落ちる、強蹴りを入れるも、笛吹けど踊れず、最後はバテバテで、最年長の団塊号にも後塵を拝しましたが、兎に角2000mを漕ぎ通しました。相対評価は「もう少しがんばりましょう」ですが、私は絶対評価で「よくがんばりました」を上げたいと思います。

碧水会メンバー：c吉田、S野村、7高島、6小寺、5芦沢、4土屋、3林、2高橋、B中平

レース結果

レーン	クルー	Rank	500m	1000m	1500m	2000m
1	団塊号	3	2' 04" 48	4' 24" 83	6' 34" 37	8' 34" 22
2	五大学ミドル	4	2' 07" 67	4' 24" 51	6' 38" 52	8' 55" 54
3	碧水会	5	2' 06" 14	4' 24" 14	6' 42" 31	9' 01" 40
4	金沢医王会	2	1' 56" 36	4' 07" 59	6' 18" 68	8' 32" 44
5	佐鳴漕友会	1	1' 57" 14	4' 02" 14	6' 09" 05	8' 20" 03

比較にならないほど小さいことです。

土屋さんからのレース考察（抜粋）

1. 敗因

- 1) 体力が無かった
- 2) 練習の時に目標としていた、レート、レース展開ができなかった
- 3) RCとしての経験が浅い
- 4) 2000m漕ぐには漕ぎが固い
- 5) 正規のメンバーで練習ができなかった

2. 得られたもの

- 1) 大きな決意により参加したその決断
 - 2) 2000mを漕ぎきった自信
 - 3) 一緒に出漕したクルーとの友情
 - 4) 招待を受けたという東工大からの信頼
 - 5) 観覧席の皆様からの賞賛
 - 6) クルー内の絆
 - 7) 運営された方々への感謝
 - 8) 負けた事による次なる目標
- まだまだ沢山あるかと思えます。得られなかったものは「優勝の栄誉」だけに、すぎません。仮に、失ったものがあるとしても得られたものとは、

3. 今後の方針

やはり、まずは体力を付ける必要があります。やり方は、個人個人にお任せ、できる範囲で色々あろうかと思えます。皆さん考えてみてください。目の前のマスターズを目標に頑張りましょう。

写真：表彰式にて



全日本マスターズへの挑戦その 2

5 月 24 日、25 日と群馬県館林の城沼において、第 7 回全日本マスターズレガッタが開催されました。全国から 94 団体、延参加者は 1,169 名という日本最大のボートレースです。ここに我が早大理工ボート部碧水会ローイングクラブは、実数で 20 名、延で 30 名が参戦しました。昨年に続き、2 回目の参加です。戦績は別表の通り少し残念な結果でしたが、エイトは 5 大学レガッタで 2,000m を漕ぎきった経験から、記録的には昨年より大分進歩はしています。

夜は、青果市場を借り切った大会場で、1,000 名以上の大パーティーが開かれました。地元の盆踊りなども披露され、楽しい一時を過ごしました。

翌日はナックルファンレースを楽しみました。代表クルーの他に S50 年卒クルーと s52 年卒クルーの 3 クルーが結成され、大いに盛り上がりました。



↑ダブルスカル：小寺 (s)、林 (B)



↑クオド：c 吉田, s 荒川, 3 小寺, 2 高島, b 林



クオド：750m 付近



↑エイト蒼天 (c 吉田, s 野村, 7 高島, 6 高荷, 5 芦沢, 4 土屋, 3 小林, 2 高橋, B 中平)：800m 付近



↑ナックル 4：c 吉田, s 土屋 3 高島, 2 野村, B 小寺



ナックル 4：(s50 年卒メンバー)

C 藤, s 鳥羽, 3 高荷 2 高橋, B 井窪



← ナックル4 : (s52 年卒メンバー)
C 中平, S 荒川, 3 新藤,
2 熊谷, B 小林
300m 付近の激戦、相当バテている。

懇親会にて⇒



第 7 回全日本マスターズレガッタ競漕記録 群馬県館林市城沼特設コース 2014 年 5 月 24 日、25 日

レース	時刻	レーン	種目	クルー表示名	カテゴリー	レース結果	距離	タイム
23	10:26	1	男子ダブルスカル	ヤマハ発動機シニア	F	4	1000	04:34.48
		2	男子ダブルスカル	走舸 (s 小寺、B 林)	F	2	1000	04:25.14
		3	男子ダブルスカル	矢切ローインククラブ	F	3	1000	04:28.37
		4	男子ダブルスカル	中電火力・愛知クラブ	F	1	1000	04:05.11
39	12:42	2	男子舵手付きクォドルプル	バルテ E	E	1	1000	03:53.27
		3	男子舵手付きクォドルプル	翠天 c 吉田, s 荒川, 3 小寺, 2 高島, b 林	E	3	1000	04:03.29
		4	男子舵手付きクォドルプル	MBC M4 X E	E	2	1000	03:59.75
56	14:58	1	男子エイト	小野湖ボートクラブ	E	3	1000	03:49.70
		2	男子エイト	蒼天 c 吉田, s 野村, 7 高島, 6 高荷, 5 芦沢, 4 土屋, 3 小林, 2 高橋, B 中平	E	4	1000	03:54.58
		3	男子エイト	バルテ E	E	1	1000	03:28.59
		4	男子エイト	稲門ミドル E	E	2	1000	03:29.06
80	8:50	1	男子ナックルフォア	五大学 B	D	5	500	02:18.93
		2	男子ナックルフォア	稲雲 c 吉田, s 土屋 3 高島, 2 野村, B 小寺	D	3	500	02:08.54
		3	男子ナックルフォア	佐鳴漕友会(静岡大学 B)	D	1	500	02:00.37
		4	男子ナックルフォア	君津ボートクラブ	D	2	500	02:04.18
		5	男子ナックルフォア	日立インスパイア	D	4	500	02:13.10
86	9:50	1	男子ナックルフォア	勝鬨 (s52 年卒メンバー) c 中平, s 荒川, 3 新藤 2, 熊谷 B 小林	F	5	500	02:15.09
		2	男子ナックルフォア	愛知東郷ボートクラブ	F	3	500	02:13.03
		3	男子ナックルフォア	金沢医王会 F	F	4	500	02:14.01
		4	男子ナックルフォア	MBC F	F	1	500	02:03.07
		5	男子ナックルフォア	矢切ローインククラブ SF	F	2	500	02:10.43
89	10:20	1	男子ナックルフォア	暁 (s50 年卒メンバー) C 藤, s 鳥羽, 3 高荷 2 高橋, B 井窪	F	3	500	02:20.50
		2	男子ナックルフォア	団塊号 A	F	1	500	02:05.48
		3	男子ナックルフォア	佐鳴漕友会(静岡大学 C)	F	2	500	02:10.03
		4	男子ナックルフォア	ポ〜っとクラブ 62	F	5	500	02:39.86
		5	男子ナックルフォア	楼門艇友会	F	4	500	02:32.02

第 48 回 関東理工系レガッタ報告

またも惜敗碧水会 8+

6 月 22 日戸田公園オリンピックボートコースで、関東理工系レガッタが開催されました。今年は早大が当番校と言う事で、早大理工 OB も全面的にバックアップしました。あいにくの雨 6 月でしたが、新人のナックルレースから開始され、昼前には OB のシングルスカル 1,000m が行われた。

2 レーン理科大 OB 座光寺さん、3 レーン早大理工 OB 荒川さん、4 レーン理科大 OB 守屋さんの 3 杯レースです。

守屋さんが先ず飛び出し、荒川さんがピッタリと追走、800m までデッドヒートを繰り広げるも、最後は、守屋さんがぐっと伸び、見事優勝、荒川さんは 2 位でした。



↑ 写真、300m 付近の 2 レーンと 3 レーンのトップ争い

関東理工系ボート部は、どこも部員の減少に苦勞しているようです。最近はいットの試合が行われなくなって久しいということで、せめて OB だけでもレースの花形である対抗エイトを復活させようと思いました。しかし、他校の OB は、絶対数の不足と普段漕いでいない方も多く、エイトで 1,000m はとてもとてもと言う事で、なかなか纏まらなかったのですが、東工大さんや早大理工らがレースの前日まで、メンバー集めを行いました。そして、下記の 4 杯のエイトレース 1,000m を開催することが出来ました。熱戦に現役の皆さんにも、大いに刺激になった事と思います。

2 レーン：混成 海洋大+筑波大+防衛大+東京外語大 (2) +九州大+中央理工+中大理工+東海大

3 レーン：早大理工碧水会 (9)

4 レーン：東工大連合 東工大 (7) +海洋大 (2)

5 レーン：東京理科大連合 理科大 (5) +早大理工 (1) +東海大 (2) +立教大 (1)

(写真は手前から 5 レーン～4～3～2 レーン です。)

戦いは、4 レーンの東工大連合が先ず飛び出し、3 杯がそれを追うという展開でした。



↑ 写真 750m 付近の激戦

最後に東京理科大連合が東工大を抜いて、1 位でゴールしました。我が早大理工碧水会は、またしてもドン尻、(修正タイム：3 位) という残念な結果でした。



↑ 写真ゴール前

レース結果

L N	順位	クルー名	計時記録	年齢	補正記録	修正順位
5	1	東京理科大連合	03:39.18	47	03:31.18	2
4	2	東工大連合	03:40.20	55	03:24.50	1
2	3	混成	03:44.94	49	03:35.24	4
3	4	早大理工碧水会	03:48.50	56	03:31.70	3

お台場レガッタと

オープンデッキで旨いビールを飲むかい

6 月 29 日（日）お台場海浜公園で、お台場レガッタが開催されました。お台場海浜公園は、レインボウブリッジの直下、神津島から運んだ真白い砂浜の南海の楽園と言うような素晴らしい環境です。

レース参加者も、抽選んで決まるという人気のレースです。理工ボートも、代表エイトとナックル 2 クルーを申しこんだのですが、s59 年ナックルは落選、代表ナックルは、ダブルエントリーができないという事で出場を断念しました。

参加予定クルー構成

①エイト：選抜メンバー + 50 年卒メンバー

S：鳥羽 7：小寺 6：池田 5：荒川 4：高荷 3：小林 2：高橋 B：中平、COX：吉田

②選抜ナックル < 出場を断念 >

(S：小寺 3：向坊 2：高橋 B：吉田 COX：中平) ⇒断念

③59 年ナックル < 落選 >

(S：栗原 3：向坊 2：小野澤 B：堀内 COX：吉田) ⇒落選

最終的に下記のチームで参加しました。

ストレンジカップエイト：S 鳥羽、7 小寺、6 池田、5 荒川、4 高荷、3 小林、2 高橋 B 中平、C 吉田



当日は井窪さんの結婚記念日のお祝を行うという事で、レース終了後「オープンテラスで旨いビールを飲む会」を開催し、S50 年卒の 5 人と高橋さんがご夫婦で参加戴きました。

前日の雨も止んで、朝から快晴、真夏のような中、楽しいレースをしました。

写真下：団塊号との激戦



ところが、レース終了直後、突然の雷と、前も見えないような豪雨、せっかくのオープンデッキも室内に変更となってしまいました。パーティーには、この日、早大 OB チーム（稲門超六漕ごう会）に乗って、見事ストレンジカップを勝ち取った田中さん（s44 卒）と岡本さん（s44 卒）も参加されました。（写真下、夕立後のオープンデッキで記念写真）



横浜市民ボートレース報告

漕手 吉田新一

7月27日の馬鹿暑い日、鶴見川漕艇場で横浜市民体育大会が開催されました。

向坊さんは、このレースで漕手再デビューを計画して、練習にも来られていたのですが、3日前の24日に向坊さんが連絡あり、「急病で病院に担ぎ込まれたが、医者からは盲腸の診断」とのこと、急遽、補漕を探したが、岡本さん(s44卒)が乗って頂くことになりました。

さて、レースはナックル3チームとエイト1チーム、4Xの5チームが出場しました。

男子クオッド(50~59)は、バウのオール飛ばしも素早く修正ができました。2回目は、逆風の中、上手くレースを纏め、2位入賞

男子KF(50~59)はコックス吉田も今回は漕手として参加しました。なんせ、漕手としては、大学1年生以来45年ぶりの事でしたので、1回目は、空振りばかりでしたが、2回目はバッチリと漕ぐ事が出来ました。そして3位入賞が出来ました。

男子KF(60~69)は、暁(52年卒中心)と勝関とのがちゃんこレースでした。2レースとも最後まで競い合い、1秒程の差でした。若い暁の優勝、そして勝関の2位となりました。

男子エイト(50~59)は、残念ながら7位(9チーム中)という成績でした。エイトは強豪ぞろいですが、タイム的にはそこそこの成績かと思えます。トップも視野に入ってきたのかと思えます。

クルーと戦績

4X+翠天: C 中平, S 小寺, 3 荒川, 2 林, B 高島 (第2位)



KF 暁: C 吉田, S 高荷, 3 井窪, 2 池田, B 岡本



KF 稲雲: C 中平, S 土屋, 3 佐久間, 2 栗原, B 吉田 (第3位)



8+蒼天: C: 吉田, S 野村, 7 高島, 6 土屋, 5 芦澤, 4 小寺, 3 小林, 2 高橋, B 中平 (26位/37チーム)



KF 勝関: C 高橋, S 熊谷, 3 小林, 2 荒川, B 小泉 (優勝)



平成 26 年度 横浜市民体育大会 成績表

H26.7.27(日)

種目	チーム名	平均年齢	1 回目	2 回目	合 計	順位
男子 KF(50~59)	パワーズ N	50.5	1:22.95	1:42.14	3:05.09	4
男子 KF(50~59)	東芝課長秋元淳	51.0	1:22.21	1:31.77	2:53.98	1
男子 KF(50~59)	ショートレンジ	54.3	1:23.77	1:39.97	3:03.74	2
男子 KF(50~59)	中大杉並艇友会	56.8	1:41.17	1:49.30	3:30.47	7
男子 KF(50~59)	早大理工碧水会 稲雲	57.8	1:24.21	1:39.85	3:04.06	3
男子 KF(50~59)	RCF フェニックス	58.0	1:27.36	1:53.03	3:20.39	6
男子 KF(50~59)	宮ヶ瀬湖一葦会	59.0	1:26.82	1:49.30	3:16.12	5
男子 KF(60~69)	早大理工碧水会 勝関	60.8	1:25.01	1:22.31	2:47.32	1
男子 KF(60~69)	荏原ボート愛好会 A	63.3	1:29.54			3
男子 KF(60~69)	早大理工碧水会 暁	63.3	1:26.01	1:23.86	2:49.87	2
男子 KF(60~69)	アメンボウ☆じゅぴたー	63.3	1:41.05	2:09.63	3:50.68	4
男子クオッド(50~59)	佐鳴漕友会(静岡大学 A)	53.3	1:06.86	1:17.46	2:24.32	1
男子クオッド(50~59)	五大学ミドル	57.0	1:21.01	1:38.22	2:59.23	4
男子クオッド(50~59)	日立インスパイア A	57.8	1:13.51	1:27.05	2:40.56	3
男子クオッド(50~59)	早大理工碧水会 翠天	59.3	1:13.25	1:26.01	2:39.26	2
男子エイト(50~59)	矢切ローイング	51.8	1:06.16	1:12.22	2:18.38	3
男子エイト(50~59)	金沢大学医王会エイト	53.3	1:06.89	1:12.72	2:19.61	4
男子エイト(50~59)	日立濃青会名古屋 RC 連合	53.5	1:09.34	1:16.23	2:25.57	6
男子エイト(50~59)	セントポールローイングクラブ	54.5	1:03.67	1:10.88	2:14.55	1
男子エイト(50~59)	早大理工碧水会 蒼天	54.8	1:09.47	1:14.05	2:23.52	7
男子エイト(50~59)	五大学ミドル	55.4	1:07.42	' "		5
男子エイト(50~59)	ミドルタマちゃんズ	55.9	1:14.34	1:22.52	2:36.86	8
男子エイト(50~59)	北大・桑園連合	56.3	1:15.10	' "		9
男子エイト(50~59)	佐鳴漕友会(静岡大学 A)	58.0	1:04.99	1:11.64	2:16.63	2

第 33 回隅田川レガッタ報告

碧水会 RC 主将 高橋康夫

真夏の隅田川は、堪らなく暑いのですが、ここでボートを漕ぐ馬鹿も居るらしいと聞いて、やって来ました。この日は東京は 35.5 度を記録したのですが、隅田川岸は、川風がさわやかで意外と涼しく感じられました。

さて、隅田川レガッタは 33 回の伝統あるボートレースで、我々はエイト 1 杯とナックルフォア 2 杯を出廷しました。

エイトについては、急拵えのクルーであり、週 2～3 回同じメンバーで、練習を積んで来ている熟練クルーにかなわず、もう一步の成績でした。

しかし、ナックルは、S50 年卒と混成クルーによるワン・ツーフィニッシュで、優勝準優勝を独占して来ました。

優勝クルーメンバーはバウから吉田さん、田中さん、栗原さん、松村さん
 コックス：高橋で、表彰式では升添知事からの表彰状と直径・高さ凡そ 30 センチの大きくて大変重たい優勝カップを手に入れました。

こうなると来年もディフェンディングチャンピオンとして参加せざるを得なくなりました。

表彰式の後で、祝杯を挙げた浅草のワインバーで、今日の優勝を演出した、44 年卒のバウペア吉田さん・田中さんの頭の真後ろにあったシャンペンボトルが自然爆発するというハプニングがありました、それも幸い ケガナク 済み、旨いビールとワインを浴びるほど飲んで来ました。



<<エイト>>

NO.	クルー名	平均年齢	1 回目計測タイム	2 回目計測タイム	補合計タイム	HC 控除後合計タイム	順位
4	葵水会	71	01:22.51	01:11.05	02:33.56	01:54.76	1
7	駿台艇友会	65	01:19.06	01:05.19	02:24.25	01:55.45	2
1	日本ボートマンクラブ	73	01:17.40	01:21.59	02:38.99	01:56.59	3
5	白門艇友会「ちから」	68	01:21.97	01:10.83	02:32.80	01:59.20	4
6	学習院桜艇会	66	01:27.56	01:12.75	02:40.31	02:09.91	5
2	四神会 70'S	77	01:26.78	01:33.36	03:00.14	02:10.14	6
8	三田漕マスターズ	67	01:18.65	01:24.17	02:42.82	02:10.82	7
3	CONCORDIA・PENTA ROWING	74	01:24.96	01:32.69	02:57.65	02:13.45	8
14	三菱ボートクラブ	37	01:08.31	01:09.54	02:17.85	02:15.85	9
15	パルテ会	49	01:14.76	01:11.94	02:26.70	02:17.10	10
9	団塊号大志	61	01:19.05	01:21.90	02:40.95	02:17.75	11
16	TBC	36	01:07.71	01:12.35	02:20.06	02:18.46	12
12	五大学ミドル	53	01:17.63	01:17.15	02:34.78	02:21.18	13
18	Royal Family	26	01:07.43	01:13.84	02:21.27	02:21.27	14
11	ミドルタマちゃんズ	58	01:17.71	01:23.10	02:40.81	02:21.61	15
13	四神会 50'S	53	01:19.08	01:16.57	02:35.65	02:22.05	16
10	早大理工碧水会蒼天	63	01:24.96	01:28.08	02:53.04	02:27.04	17
17	警視庁 A	27	01:08.00	01:19.45	02:27.45	02:27.45	18

<<チャレンジナックルフォア男子>>

NO.	クルー名	平均年齢	1 回目計測タイム	2 回目計測タイム	補合計タイム	HC 控除後合計タイム	順位
1	早大理工碧水会稲雲	63	01:38.71	01:45.10	03:23.81	02:51.41	1
3	早大理工碧水会暁	62	01:40.64	01:41.61	03:22.25	02:51.65	2
8	警視庁 B	43	01:27.21	01:39.49	03:06.70	03:00.30	3
6	Everonward	40	01:25.88	01:42.82	03:08.70	03:04.50	4
14	日本橋高校	17	01:32.35	01:32.35	03:04.70	03:04.70	5
7	かわせみ	44	01:28.98	01:47.96	03:16.94	03:09.74	6
5	えどがわミドル	48	01:39.88	01:45.57	03:25.45	03:14.45	7
13	東葛 X ライナーズ	33	01:38.09	01:38.24	03:16.33	03:15.33	8
9	TETSUGEN	26	01:31.24	01:46.46	03:17.70	03:17.70	9
2	レガッタクラブ・フレンドシップ	59	01:49.00	01:54.47	03:43.47	03:17.87	10
11	シヤカリキボンバイエ	17	01:32.21	01:46.20	03:18.41	03:18.41	11
12	ワセダクラブチャレンジ B	16	01:36.83	01:43.21	03:20.04	03:20.04	12
10	ワセダクラブチャレンジ A	17	01:38.28	01:54.10	03:32.38	03:32.38	13
4	えどがわ青い薔薇	55	01:57.46	01:56.27	03:53.73	03:34.13	14

総務委員会からのお知らせ

総務副委員長 小寺 浩二（1985 年卒）

1) 名簿整備について

現在、住所不明の方の名前一覧です。ご存じの方がおられましたら、総務委員会まで、お知らせ下さい。

(E-mail : hekisuikai-somu@freeml.com)

63: 吉井滋, 斎藤欣二, 山田潔, 小泉達也, 小倉卓雄, 66: 細田彰, 仲田戒昭, 八木沢秀記, 鈴木啓太郎, 68: 西山宏明, 大川揚子雄, 69: 吉村寿一, 70: 堤 敏幸, 71: 榎島信二, 72: 佐々木則夫, 坂本雄二, 73: 岩崎陽一, 吉沼登志雄, 本田優, 74: 永原優, 後藤幸和, 高橋陵二, 小林秀紀, 柳沢孝行, 乙崎清, 葛西淑和, 大見修, 熊切秀雄, 大石良一, 長尾光男, 75: 荒木聡, 78: 金子尚弘, 石黒敦, 川畑正二, 小池斎, 堤英輔, 79: 沢野 勝己, 片平俊介, 80: 久保孝, 83: 宮下訓, 84: 森園信二, 久保村知昭, 85: 高木隆, 87: 日比野俊行, 小森田哲也, 竹内尚, 廣田雅一, 澤田滋, 照山竜生, 88: 岡村信之, 金田安生, 江藤誠, 桜井健二, 秋道高志, 倉田浩, 村山敏宏, 佐竹丈二, 唐木英行, 和田秀雄, 加藤秀明, 馬場正博, 89: 熊田浩, 大内潔, 藤田俊明, 宮沢徹, 90: 三原明, 木村(杉田)陽子, 森川聡, 92: 吉岡誠二, 錦戸宏司, 93: 廣松平, 94: 朝井欣哉, 藤原省悟, 内海孝之, 岩持潤一, 志水祐, 前田益尚, 長沼隆治, 林一樹, 95: 菊地慎一, 荒木克洋, 山下雄一, 佐藤宏, 西松研, 洪井健, 杉原秀典, 西村利幸, 石山輝久, 96: 中丸隆二, 岡芹美織, 貝森(加賀谷)昌美, 97: 松本匡司, 石橋正邦, 内野豊臣, 広脇 雅美, 荒川訓子, 豊田祐子, 98: 笹島剛, 大関美穂, 杉野莊介, 糟谷裕輔, 長井足日, 西村美雪, 寺前寛子, 小松久美子, 小又いずみ, 99: 錦織智, 船津大介, 新家道泰, 深田治, 田口昌弘, 00: 高野潤子, 白波瀬(小川)奈々, 椿みのり, 01: 渡辺恵子, 長崎孝彦, 對木大介, 02: 井上雄一郎, 河野直美, 梶村宏一, 中川昌子, 梅田静恵, 03: 花輪由紀子, 青木由香, 04: 山本佳嗣, 名波谷英行, 池田真実, 05: 小川敦史, 柴田章広, 林田(佐原)理香子, 佐藤美佳, 06: 小川(高島)明日未, 都築漁人, 07: 尾藤文美

会費納入のお願い

財政・会計委員長 池田 和夫（1975 年卒）

本会の会費は、毎年 1 万円。原則として、前納制となっております。できる限り、2013 年 12 月中に納入をお願いしておりますが、お忘れの方はよろしく願いいたします。また、できるだけ自動振替の手続きをお願いいたします。毎年 1 2 月の引落です。

<会費振込先>
三菱東京UFJ銀行
高田馬場支店



普通口座 0542113 早大理工ボート部 OB 会

編集後記

暁第 3 号の発行が大幅におくれました。大変申し訳ございません。原稿を戴いてから日にちが経ったものもあり、タイムリーな内容で無いとお叱りを受けるのを承知しておりますが、兎に角出すことが先という事で、発行します。碧水ローイングクラブの報告が中心となってしまいましたが、来月には稲雲（紙版）の発行を予定しているため、こちらには、各委員会の報告事項、現役の戦いの結果等を掲載する予定です。文責：吉田新一